



## 平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月5日

上場会社名 株式会社 ミツウロコグループホールディングス  
コード番号 8131 URL <http://www.mitsuuroko.com/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田島 晃平

問合せ先責任者 (役職名) グループ執行役員財務経理部長 (氏名) 児島 和洋

TEL 03-3258-6310

四半期報告書提出予定日 平成24年11月6日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	91,234	15.4	96	—	387	—	△143	—
24年3月期第2四半期	79,059	13.1	△133	—	30	△95.1	△243	—

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 △328百万円 (—%) 24年3月期第2四半期 △179百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	△2.20	—
24年3月期第2四半期	△3.74	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第2四半期	110,164	61,495	55.7	943.92
24年3月期	119,700	62,801	52.4	963.97

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 61,401百万円 24年3月期 62,706百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	—	—	15.00	15.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	200,000	△1.3	3,400	5.8	3,500	△1.1	1,700	△28.0	26.06

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期2Q	68,137,308 株	24年3月期	68,137,308 株
② 期末自己株式数	25年3月期2Q	3,087,866 株	24年3月期	3,087,663 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期2Q	65,049,548 株	24年3月期2Q	65,241,455 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。なお、上記予想に関する事項は、3ページ 1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等 .....	3
4. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	10
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	10
(6) セグメント情報等 .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における我が国の経済情勢は、設備投資に緩やかな持ち直しが見られ、企業収益にもやや改善の兆しが見えるものの、世界景気の減速等を背景に生産が減少し、輸出が弱含みとなっていることに加え、欧州等をはじめとした海外経済の不確実性が国内景気の下振れリスクとなっているなど、引き続き不透明な状況で推移いたしました。

当社グループ主力のエネルギー事業の周辺環境では、原油価格ならびにLPガス仕入価格の指標となるCP(Contract Price = 輸入通告価格)が長期にわたり高い水準で推移しており、LPガス、石油製品の適正マージン確保が難しい状況で推移いたしました。

こうした状況下、春から夏に最需要期を迎える飲料事業において、大規模なキャンペーン実施によるウォーターサーバー設置数増加や、大型のOEM製品供給が次々に始まるなど販売数量増加を図り、主力のLPガス事業では営業費用圧縮等に努めました。

また、太陽光発電システムや家庭用燃料電池等、新エネルギー関連機器については旺盛な需要に支えられ概ね好調を維持いたしました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は前年同四半期比15.4%増の912億34百万円となりましたが、飲料事業の拡大とLPガス事業の営業費用圧縮等により、営業利益は前年同四半期より2億30百万円改善し96百万円の営業利益(前年同四半期は営業損失1億33百万円)、経常利益は前年同四半期比1,185.5%増の3億87百万円、四半期純損失は前年同四半期より1億円改善し、1億43百万円となりました(前年同四半期は四半期純損失2億43百万円)。

セグメントの状況は以下のとおりです。

なお、セグメントの名称については、第1四半期連結会計期間より語尾に「事業」をつけることといたしました。(エネルギー事業)

原油価格ならびにCPが依然として高水準で推移していることから、LPガスや石油製品については営業費用の圧縮に努め、新エネルギー関連機器については旺盛な需要による好調を維持し、売上高は前年同四半期比15.0%増の857億84百万円、営業利益は前年同四半期比54.9%増の6億74百万円となりました。

(不動産賃貸事業)

空室率改善により売上高は前年同四半期比2.2%増の5億47百万円、営業利益は前年同四半期比2.2%増の2億1百万円となりました。

(健康・スポーツ事業)

横浜駅西口の複合商業施設「HAMABOWL EAS(ハマボールイアス)」内の「SPA EAS(スパイアス)」の来場数が増加傾向を維持していることから、売上高は前年同四半期比2.9%増の7億41百万円、営業損失は前年同四半期比14百万円改善し、1億57百万円(前年同四半期は営業損失1億72百万円)となりました。

なお、当セグメントは「HAMABOWL EAS(ハマボールイアス)」運営によるものですが、当該施設内のテナント群の業態等を含め施設全体のコンセプトを正確に表すため、セグメント名称を従来の「アミューズメント」に替え、第1四半期連結会計期間より「健康・スポーツ事業」と変更いたしました。

(電力事業)

新電力事業(PPS=特定規模電気事業者)としての電気販売量増加等により、売上高は前年同四半期比29.5%増の25億21百万円となりましたが、電力受給の逼迫に起因する電気の調達価格上昇の影響により、営業損益は前年同四半期比1億86百万円悪化し、1億14百万円の営業損失(前年同四半期は営業利益71百万円)となりました。

(その他事業)

夏季に実施した大型キャンペーンや新たなOEM供給開始等による飲料製品の販売量増加や、リース事業における取扱量増加等により、売上高は前年同四半期比31.4%増の16億38百万円、営業損益は飲料製品の販売量拡大と飲料製品製造工場の稼働率を上げるなどの原価圧縮策により前年同四半期比1億56百万円改善し、60百万円の営業損失(前年同四半期は営業損失2億16百万円)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

当第2四半期連結累計期間末の総資産は、現金及び預金の減少31億36百万円、受取手形及び売掛金の減少56億72百万円、投資有価証券の減少2億59百万円等により、前連結会計年度末と比較して95億36百万円減少の1,101億64百万円となりました。

(負債)

負債は、支払手形及び買掛金の減少52億23百万円、未払法人税等の減少10億84百万円、短期借入金の減少41億84百万円等により、前連結会計年度末と比較して82億29百万円減少の486億69百万円となりました。

(純資産)

純資産は、配当金の支払い9億77百万円及び四半期純損失1億43百万円等による利益剰余金の減少11億20百万円等により、前連結会計年度末と比較して13億6百万円減少の614億95百万円となりました。

以上により、自己資本比率は前連結会計年度末と比較して3.3ポイント増加して55.7%となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、仕入債務の減少等により前年同四半期比8億53百万円(42.9%)収入が減少し、11億35百万円の現金及び現金同等物を得ました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、定期預金の預入による支出の減少等により前年同四半期比1億39百万円(11.4%)支出が減少し、10億84百万円の現金及び現金同等物を使用しました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入金の減少による支出の増加及び長期借入れによる収入の増加等により前年同四半期比18億81百万円(147.1%)支出が増加し、31億60百万円の現金及び現金同等物を使用しました。

以上の結果、現金及び現金同等物の四半期末残高は、前連結会計年度末と比較して31億9百万円減少し166億500百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

業績予想につきましては、原油価格及びLPGガスの仕入価格の動向並びに市場の動向によっては厳しい状況も想定されますが、平成24年5月8日の決算発表時に公表した数値を修正しておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更等

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社グループは、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる損益に与える影響及びセグメント情報に与える影響は軽微であります。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	35,026	31,889
受取手形及び売掛金	19,134	13,462
商品及び製品	3,391	2,824
原材料及び貯蔵品	243	162
繰延税金資産	557	735
その他	3,245	3,246
貸倒引当金	△174	△126
流動資産合計	61,423	52,195
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	12,623	12,360
機械装置及び運搬具(純額)	8,217	7,815
土地	12,900	12,965
建設仮勘定	20	227
その他(純額)	758	712
有形固定資産合計	34,521	34,081
無形固定資産		
のれん	1,669	1,629
その他	1,418	1,596
無形固定資産合計	3,087	3,225
投資その他の資産		
投資有価証券	11,180	10,921
繰延税金資産	822	817
その他	8,835	9,118
貸倒引当金	△184	△200
投資その他の資産合計	20,654	20,656
固定資産合計	58,263	57,963
繰延資産	13	5
資産合計	119,700	110,164

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	16,709	11,485
短期借入金	11,759	7,574
未払法人税等	1,303	218
引当金	798	814
その他	2,574	2,851
流動負債合計	33,144	22,944
固定負債		
長期借入金	14,126	16,216
繰延税金負債	2,257	2,171
退職給付引当金	1,273	1,327
その他の引当金	428	438
資産除去債務	691	692
その他	4,976	4,878
固定負債合計	23,754	25,725
負債合計	56,899	48,669
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,077	7,077
資本剰余金	5,843	5,843
利益剰余金	49,955	48,835
自己株式	△1,704	△1,704
株主資本合計	61,173	60,052
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,870	1,703
繰延ヘッジ損益	△337	△354
その他の包括利益累計額合計	1,532	1,348
少数株主持分	95	93
純資産合計	62,801	61,495
負債純資産合計	119,700	110,164

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	79,059	91,234
売上原価	67,071	79,091
売上総利益	11,987	12,143
販売費及び一般管理費	12,121	12,046
営業利益又は営業損失(△)	△133	96
営業外収益		
受取利息	37	37
受取配当金	115	129
その他	359	408
営業外収益合計	512	574
営業外費用		
支払利息	268	229
その他	79	54
営業外費用合計	348	284
経常利益	30	387
特別利益		
固定資産売却益	75	20
その他	6	—
特別利益合計	82	20
特別損失		
固定資産除却損	70	125
固定資産売却損	0	0
投資有価証券評価損	127	111
土壤汚染処理対策費	—	41
電力受給契約改定損	—	85
その他	0	—
特別損失合計	198	365
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△85	42
法人税、住民税及び事業税	214	394
法人税等調整額	△56	△207
法人税等合計	157	187
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△243	△144
少数株主利益又は少数株主損失(△)	0	△1
四半期純損失(△)	△243	△143



(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△243	△144
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	104	△166
繰延ヘッジ損益	△38	△16
持分法適用会社に対する持分相当額	△2	△1
その他の包括利益合計	64	△184
四半期包括利益	△179	△328
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△179	△327
少数株主に係る四半期包括利益	0	△1

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△85	42
減価償却費	1,872	1,646
のれん償却額	1	1
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△38	53
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△75	9
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△75	△32
災害損失引当金の増減額(△は減少)	△31	△15
受取利息及び受取配当金	△153	△166
支払利息	268	229
持分法による投資損益(△は益)	△12	△9
投資有価証券評価損益(△は益)	127	111
固定資産除売却損益(△は益)	△5	106
売上債権の増減額(△は増加)	1,649	5,672
たな卸資産の増減額(△は増加)	△120	646
仕入債務の増減額(△は減少)	△482	△5,223
その他	△155	△952
小計	2,683	2,121
利息及び配当金の受取額	207	180
利息の支払額	△269	△230
法人税等の支払額	△642	△1,555
法人税等の還付額	9	620
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,988	1,135
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△9,974	△8,439
定期預金の払戻による収入	9,689	8,478
有形固定資産の取得による支出	△422	△549
有形固定資産の売却による収入	232	40
有形固定資産の除却による支出	△28	△92
無形固定資産の取得による支出	△847	△557
投資有価証券の取得による支出	△84	△72
投資有価証券の売却による収入	1	1
子会社株式の取得による支出	△0	—
短期貸付金の増減額(△は増加)	0	0
長期貸付けによる支出	—	△1
長期貸付金の回収による収入	7	4
その他	201	102
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,223	△1,084

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	430	△4,500
長期借入れによる収入	300	3,200
長期借入金の返済による支出	△955	△795
リース債務の返済による支出	△74	△92
自己株式の取得による支出	△0	△0
自己株式の売却による収入	—	0
配当金の支払額	△979	△973
その他	0	1
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,279	△3,160
現金及び現金同等物に係る換算差額		
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△513	△3,109
現金及び現金同等物の期首残高	16,623	19,759
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	45	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	16,155	16,650

（4）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（5）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

（6）セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント					その他 事業 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注) 3
	エネルギ ー事業	不動産 賃貸 事業	健康・ スポーツ 事業	電力事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	74,606	535	720	1,948	77,811	1,247	79,059	—	79,059
セグメント間の内部 売上高又は振替高	36	6	—	45	89	22	111	△111	—
計	74,643	542	720	1,993	77,900	1,269	79,170	△111	79,059
セグメント利益又は 損失（△）	435	197	△172	71	532	△216	315	△449	△133

（注）1. 「その他事業」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、煉炭・豆炭等の販売、リース業、ミネラルウォーターの製造販売、保険代理店業及び他サービスの販売を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失（△）の調整額△449百万円には、セグメント間取引消去0百万円、各報告には配分していない全社費用△448百万円及びその他調整額△1百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 事業 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注) 3
	エネルギ ー事業	不動産 賃貸 事業	健康・ スポーツ 事業	電力事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	85,784	547	741	2,521	89,596	1,638	91,234	—	91,234
セグメント間の内部 売上高又は振替高	30	19	0	60	110	30	140	△140	—
計	85,815	567	741	2,582	89,706	1,669	91,375	△140	91,234
セグメント利益又は 損失(△)	674	201	△157	△114	603	△60	543	△446	96

(注) 1. 「その他事業」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、煉炭・豆炭等の販売、リース業、飲料製品の製造販売、保険代理店業及び他サービスの販売を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△446百万円には、セグメント間取引消去3百万円、各報告には配分していない全社費用△472百万円及びその他調整額22百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

セグメントの名称については、第1四半期連結会計期間より語尾に「事業」をつけることといたしました。

また、従来の「アミューズメント」セグメントについては「HAMABOWL EAS(ハマボールイアス)」運営によるものですが、当該施設内のテナント群の業態等を含め施設全体のコンセプトを正確に表すため、名称を従来の「アミューズメント」に替え、第1四半期連結会計期間より「健康・スポーツ事業」と変更いたしました。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。